

通信

NO. 18
平成26年7月号

ビジネス総研株式会社

福岡市博多区博多駅前4丁目
33番11-702号
☎092-409-4177

睡蓮が咲いた。



睡蓮鉢に今年も花が咲いた。



スタ コラ わすれっぽさ との戦い

柿本 和人

人間、誰しもある年齢層になってくると忘れっぽくなるものだ。

しかし、大事なことをすっかり忘れていては信用にもかかわる。

「わすれっぽさを解消する、うまい方法があるのではないか」私はそう考えた。

ある日の会議の途中、重要な案件が提示された。これは忘れてはならない。

私はそっと、腕時計を右に付け替えた。

「右時計の違和感」それは私に、重要案件のことをきっと思い出させてくれるだろう。

しかし、人間は、慣れる。この手を何度も使っているのは右時計は私の日常となり、私は違和感を覚えなくなるだろう。

そう考えた私は、そっと左の靴下をくるぶしまで下ろした。

「ずり落ちた靴下」それは私に、「右時計の違和感」を思い出させるだろう。

しかし…わすれっぽいが靴下のことも忘れてしまったら…私はさらに安全策を講じることにした。

「自分が忘れても他の人に指摘してもらえばよい」のだ。

私は思い切ってシャツをズボンから出し、おなかの前にすこしだけペロンと出して再びそれをしまいこんだ。

これで、私が歩くと人々は私のおなかに注目するだろう。やさしい人は声をかけてくれるかもしれない。

こうして「おなかペロン」は、私に「ずり落ちた靴下」を思い出させ、「ずり落ちた靴下」は「右時計の違和感」を想起させ、無事私に「重要案件」を思い出させることになるはずだ。

めでたしめでたし。

……いや、待てよ、こんなだらしなない格好をしては私の人

格が疑われることになるのでは？

「メモをとりなさい」

多くの方の、心優しいアドバイスが聞こえてくる。

いや、みなさんはわかっていない。そんなことができるなら私は、はじめからそうしている。

メモをとるということすら忘れてしまう人間の、精神の弱点を肉体がいかに克服できるか？というギリギリの攻防のことを私は言っているのだ。

さて、今日も新しい戦いをはじめよう。



日洋展は、日本の具象絵画の登竜門として、未完成であってもはつらつとした新人の個性的で新鮮な具象絵画展として開催されています。



私も2年に1回、応募し、今回も「払暁の月」(油彩 F100号)が入選し、展示されます。会期：8月5日から8月10日 会場：福岡市美術館

この「通信」の封筒詰めと宛名シール貼りは、「障がい者の仕事をつくる」NPO法人ホーキーズの皆さんにお願いしています。一生懸命、丁寧な作業を心がけていますが、多少のずれやしわ、ゆがみなどはお容赦ください。



映画大好きの山ちゃんが、毎回、自分の言葉で執筆します。

チャイナ・シンドローム



監督：ジェームズ・ブリッジス
出演：ジェーン・フォンダ
ジャック・レモン
マイケル・ダグラス
1979年 米：コロムビア映画

今から34年前に、原発事故問題を題材としたアメリカ映画があった事に、まず、驚いた。

原発事故の真実を報道しようとする女性キャスター（ジェーン・フォンダ）の闘いを描いた衝撃の社会派サスペンスである。

2011年福島の原発事故を重ね合わせて見る時に、「国民に本当の事」が説明・発表されているのだろうかと思いたくなるこのごろである。

それは、東電をはじめ、政府の責任者・担当者が「福島の人達をはじめ、国民を馬鹿にしたような数々の問題発言」が物語っている。

今後、マスコミにも真実を知らせる報道に一層頑張ってもらい

たい事と同時に、一人でも多くの人に是非この映画を観てもらいたいものです。



くまさんの コンサル日誌



似顔絵作家の小西みどりさんに描いていただきました。

長崎とのご縁

長崎とのご縁が長年続いている。

年間に何度も訪れる長崎には、歴史的な名残がそこかしこにある。

今回、新規創業を支援するために訪れた長崎の法務局近くの興善町交差点には「長崎東京間郵便線路開通起点跡」の碑が立っている。



この碑の説明文には、郵便が、それまでの飛脚に代わり、1871年3月1日、東京—大阪間に開通。12月5日には長崎まで延長され、これによって、東京—長崎間190時間かかった飛脚便が、半分

の95時間に短縮された。とある。

その筋向いには唐通事会所跡と活版伝習所跡の碑が並んで立っている。

唐通事会所は、江戸時代の中国貿易で中国語の通訳をする役人を「唐通事」とよび、その事務所。最初は、年番大通事の自宅が会所になっていたが、1762年に今町から興善町に移転されたとある。

活版伝習所跡の碑には、活版伝習所は、1869年に長崎製鉄所付属の活版伝習所をこの地に設立したものとあった。



編集後記

この「通信」も今回で18号、発行するたびにもらうお便りが、継続する励みになっている。

今回、W社長から次のようなお便りをいただいた。ありがとう。

「いつも通信ありがとうございます。楽しみに読ませていただいております。私もお客さまにありがとうございますの便りを出しているので大変参考になります。これからどうぞよろしく願いいたします。」

Relationship & Partnership
Bビジネス総研
ビジネス総研株式会社
 福岡市博多区博多駅前4-33-11-702
 ☎092-409-4177 FAX092-409-4170
 Eメール kuma@b-souken.com
<http://www.b-souken.com>